

しずおか

2023年 10月31日

発行責任者

静岡県社会保障推進協議会
事務局長 小高 賢治

県社保協ニュース 29期 No.3

連絡先 電話 054-287-7355 FAX 054-287-7356

Eメール Kodaken0620@yahoo.co.jp

県の財政支援で国保料の引き下げを！



静岡県社会保障推進協議会は毎月定例の「憲法25条を守ろう！署名宣伝行動」では、9月から12月県議会に提出する「国保料（税）の引き下げを求める請願署名」の署名宣伝行動を行っています。横断幕を掲げて署名を呼びかけると、目立つ横断幕を見て、署名をしてくれる人も少なくありません。県下では53%の県民が「暮らし向きは、今年の今頃に比べて苦しくなっている」と答えて（2023年度県政世論調査）いる中で、国保料や介護保険料を払えない人がどんどん増えています。宣伝行動の中でも「国保料は高いけど、介護保険料も困っている」「窓口負担も上げられ、もう年寄いじめはやめてほしい」などの「声」が聞かれ、9月は参加6団体13名の参加23筆、10月は7団体16名の参加で24筆の署名が集まりました。

県への国保料引き下げ署名を地域社保協、各団体、すべての市町に広げよう！

各組織とも、目標（県全体3万筆）をやりきるためにあらゆる工夫と手立てを尽くし、残された1か月余りを頑張らしましょう！署名集計日については以下の通りです。署名集計用紙をfax・メールでお送り下さい。

●第1回集約日：11月7日（火） ●第2回集約日：11月21日（火） ●第3回集約日：12月5日（火）

第50回中央社保学校に静岡県から、2日間で延べ67名が参加！

第50回中央社保学校form岡山（9/16～9/17）は今年も開催地と全国をオンラインで繋いでの開催となりましたが、全国では2日間で延べ645名（昨年522名）が参加しました。静岡県では長年たたかわれてきた「生活保護引き下げ取消訴訟 静岡地裁」で勝訴判決（5/30）を勝ち取り、「引き続き東京高裁に向けて大いに学び、運動を広げていこう」と静岡県社保協として各地域社保協に呼びかけて取り組まれました。そして「三島市医療と福祉をよくする会」「静岡市医療と福祉をよくする会」「掛川の地域医療をよくする会」「介護・医療と社会保障を考える市民の会（浜松）」の4つの地域社保協で視聴会が取り組み、2日間で昨年（延べ47名）を上回る延べ67名の参加がありました。

朝日訴訟の意義も深く学び、憲法の歴史も学んで確信が持てた！

受講者からは「朝日訴訟について深く勉強させられた。今の世の中の動きと同じものがある。我々も草の根運動で頑張らなければ！」「朝日訴訟の意義も、憲法の歴史も学んで確信が持てた。エリート志向の裁判官が多い中で、裁判に勝てなくても決して絶望しないで、事実を突きつけて正していかななくてはならない」「特別報告の名古屋市の国保運動は粘り強い運動の中で一般会計からの繰り入れさせた経験を聞いたのはとても有意義だった」などの感想がだされました。

各団体からの参加者と発

言者を11月7日（火）まで

にお知らせください！

〈県健康福祉部等との交渉に各団体からの参加を！〉

日時：11月9日（木）13:30～16:30

場所：県庁本館4階401会議室（13:00集合）